

4月の園だより

令和7年4月号
杉並区立西荻北子供園
園長 須田 なぎさ



わくわくした毎日を

園長 須田 なぎさ

チューリップ、菜の花など、園庭の花々が美しく咲きそろい、新年長組が2月に植えたジャガイモやエンドウマメやソラマメも育ってきています。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

令和7年度の西荻北子供園は、年少うさぎ組9名、年中くま組は新入园児2名加わり14名、そして年長ぞう組は1名加わり20名、全園児43名でのスタートとなりました。職員も、育休からの復帰教諭を含め、7名の新メンバーを迎えました。

令和7年度 西荻北子供園 教育目標

心身ともに健康で、主体的に遊びや生活を進める幼児の育成を目指し、次の目標を設定する。

げんきに なかよく よくかんがえて

今年度の西荻北子供園は、上記の教育目標のもと、子どもたちが、遊びや生活の中で、進んで体を動かして遊ぼうとする意欲や態度を育てていきます。また、身近な人と関わる中で、様々な感情体験をし、自分も相手も大切にすることを育てていきます。

さらに、幼児が「やりたい」と思って取り組む遊びの中で、「なぜだろう？」と好奇心を持つきっかけを作り、「できるかな？」「～してみよう！」と考えを広げ、試したり工夫したりできるような環境を用意し、子どもたちがわくわくしながら遊び、その中で、思考力・探究心など、学びの基礎となる力を培っていきます。

「こども家庭庁」が発足し、「こどもまんなか社会」の実現に向けて社会が動いています。「はじめの100か月の育ちビジョン」には、「乳幼児の育ちには、『安心』と『挑戦』の繰り返しが大切」とあります。『安心』は、子どもが不安なとき、寄り添う大人がいることや安心感をもたらす経験を繰り返すことで、土台が築かれていきます。また、外へ向けて『挑戦』するためには、「さまざまな人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に応じた『遊びや体験』をすることが大切」と記されています。

西荻北子供園が子どもたちにとって、不安なことがあっても寄り添う大人のいる安心できる居場所であり、一人一人が自己発揮し、友達と認め合い、環境と関わることで、楽しく遊び、様々な体験ができるわくわくする場所となるように、教職員一同、力を合わせてまいります。

子どもたちを真ん中にして、保護者と地域の皆様のご理解・ご協力のもと、幼児期にふさわしい教育・保育をすすめてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

